

## 国際ビジネス研究学会 第23回全国大会 主催校からのご挨拶

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本学会の活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の全国大会は、10月22日(土)、23日(日)の両日、大阪商業大学(大阪府東大阪市)にて「中国とこれからの企業経営」を統一論題として開催されることとなりました。

本学会の全国大会で「中国」を統一論題のテーマとして前面に打ち出すのは、第9回大会(2002年度)以来となりますが、当時と比べますと、中国の世界経済におけるポジションや経営環境は大きく変化しております。まず、GDP総額(名目)は2002年～2015年に約5.7倍に成長し、世界第2位の経済大国へと躍進を遂げました。また、その間に日系企業数は約3.5倍に増え、今日の中国は日本企業が世界の中で最も多くの現地法人を有する戦略的重要性が極めて高い国となっています。

しかしその一方で、近年では人件費の上昇や労使紛争の増加、大気汚染問題に加え、景気減速傾向が顕在化するなど、「世界の工場・消費市場」と言われた中国の前途に不安が広がり、わが国企業に関しても、中国事業の再編や撤退の動きが伝えられております。

こうした中、今回の大会では、中国の経済社会の行方を考えるとともに、日本企業の今後の中国現地経営やグローバル戦略における中国事業のあり方、さらには中国企業の海外進出等について議論を深めたいと思います。

大会初日は研究者および実務家の双方から上記統一論題に関わる報告とパネルディスカッションを予定しています。また二日目については、自由論題報告のほか、国際交流フォーラムや編集フォーラムも企画しております。ご多忙のことと存じますが、多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げる次第でございます。

敬具

2016年5月吉日

第23回全国大会主催校 大阪商業大学  
実行委員長 古沢昌之